NO.713 2021　　聖イグナチオ教会報

3月

カトリック麹町教会

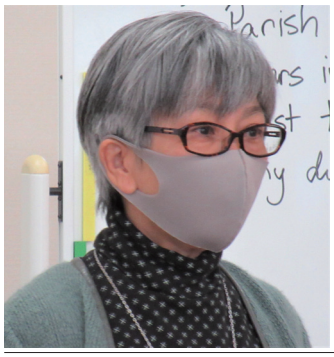
MAGIS

『マジス』 ― 「より、もっと、さらに」

教会テーマ『勇気と寛大な心をもって出かけて行きなさい』（教皇フランシスコ）―「ミッション2030」― 新しい協働

パンデミックの中で「得たもの」

ジョン・デ・ブリッド　イングリッシュセンター
Sr.フロール・フロレーセ（イエズス孝女会）



世界中を混乱に陥れ、1年がたったパンデミック（コロナ禍の世界的流行）。それによる多くの制約や奪われた機会、苦しみ、喪失から何かよいものが生まれるでしょうか？

「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」（ヨハネ21：6）

ペトロと弟子たちのように、私たちも、舟の**左側**に「網を打つ」ことにあまりにも慣れてしまい、**右側**に打ったらどうなるか想像もできなかったのかもしれません。

ジョン・デ・ブリッド イングリッシュセンターも挑戦を受けました。ミサのオンライン配信、典礼、活動や行事なしに共同体意識をどう保つか、秘跡なしに信仰をどう支えるか、宣教をどう継続させるか……問い続ける日々でした。

「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」

私たちはイエスに耳を傾け、舟の右側に網を打ちました！ どうなったでしょう？ 日曜日のミサは12時と16時半、2回になりました。12時のミサはライブ配信され、夕方のミサでは若者たちが喜んで奉仕しています。侍者の何人かは訓練を経て、家庭のためのミサで堂々と先唱や朗読をしています。聖歌は2人で歌い、その声は聖堂を満たし、典礼を豊かにしています。エンジェルズ・グループと英語の日曜学校は、子どもたちのために楽しいビデオを制作！ 英語ニュースレターはサイトにも掲載、国に帰った人、転居した人たちも、聖イグナチオ教会と再びつながれるようになりました。信仰養成グループはオンラインでわかち合いを続けています。賛美の集いは寄せられる祈りの意向をメンバーに伝え、ともに祈っています。

待降節の黙想の動画配信は多くの人の心に火をともしました。クリスマス会はできませんでしたが、そのための献金は、共同体の困窮する仲間へ、「より明るいクリスマスを」とプレゼントされました。降誕祭は教会に人があふれることはありませんでしたが、スリランカとフィリピンのために集められた献金は大きな額になりました！ 2021年初のオンライン・ミーティングでは、昨年の特別な恵みとして、健康、くじけない心、ミサ、ミッション、結婚、家族、インマヌエル、希望などが列挙されました。

教皇フランシスコは、回勅『兄弟の皆さんFratelli Tutti』で、希望を呼び覚まし新たに前進するように、ミッションの新しい方法に開かれるようにと呼びかけています。「今という時は、聖霊に開かれるための好機です。聖霊は、何が可能であるか、私たちのうちに想像力のひらめきを与えることがおできになります」と。

このパンデミックの時、希望もなく歩む多くの人がいます。聖イグナチオ教会で最も必要なのは、たくさんの活動以上に、**お互いのために在る**ことだと気づかされます。「いやしの香油、温かさ、優しく寄り添うこと、希望の鼓動、歩む道のなぐさめ、励まし、目覚めさせる問いかけ、〝交わり〟の専門家ナザレのイエスをあらわす生き方」（イエズス孝女会第18回総会文書no.4）です。

教会報 MAGIS 3月号

- おしえて！教会公式SNS（下）　2頁
- 行事報告など　3頁
- 2月のお知らせなど　4頁
- 教会活動グループの今（下）　7頁
- 訃報リバス神父、草野純英神父　8頁

共同体を生きる

３月の共同祈願

主イエス・キリスト、

あなたが十字架の苦しみをお受けになったのは、

すべて私の罪のためでした。

私たちが神に立ち返り、

新しいいのちを生きることができますように。

担当：事務室

ミッション 2030　ー前文ー

私たち聖イグナチオ教会は、祈りにもとづく使徒的共同体を生きていきます。

現代の社会は、命の軽視や孤独、過度の競争原理や格差、環境破壊など、未来に希望を見いだしにくい反福音的なものに脅かされています。それに対して、私たちは自分たちの殻に閉じこもることなく、いつくしみの扉を開いていきます。

私たちは、同伴者イエス・キリストと心を合わせて、貧しい人や弱い人の声を聴き、皆でともに手をたずさえて（日本人も外国人も、老いも若きも）、福音の喜びを分ち合っていく使命を生きていきます。

特別編　教会公式ＳＮＳについて、おしえて！（下）

yo

受洗２年目の新米信徒がお送りするこのコーナー。聖イグナチオ教会の公式ＳＮＳ（交流サイト）について、今月は、Ｆａｃｅｂｏｏｋを運営するみなさんにうかがいました。（担当Ｅ）

【問】 教会公式Ｆａｃｅｂｏｏｋ（以下ＦＢ）は広報グループがご担当です。開始したのはいつですか？

【答】 ２０１８年の秋でした。教会のホームページをリニューアルする準備を進めていたのですが、ＳＮＳでも発信しようと考えて取り組みを始めました。

【問】 どのように投稿・更新しているのでしょう？

【答】 投稿は私一人が担当していますが、ページの管理と投稿のチェックをそれぞれ別のメンバーが担当しています。投稿にあたり詳細なルールを決めて、それに従って運営しています。また教会事務室から依頼されて投稿することもありますよ。

【問】 コロナ禍でのご苦労は？

【答】 ＦＢは写真の共有を目的としていましたが、コロナ禍で教会に人が集まらず、また私自身も教会に行く機会が減ってしまい、投稿が難しくなっていることですね。

【問】 その写真を撮影する時に留意されていることは？

【答】 スマホで写真を撮影しているので、どうしても音が出てしまいます。みなさんのお邪魔にならないように気をつけていますが…。

【問】 これまでどのような反響がありましたか？

【答】 教会の画像は喜ばれているようです。また教会公式ＦＢではコメントを自由に書き込んでもらっています。残念ながらネガティヴなコメントは削除せざるを得ませんが。

【問】 反響も含めて、活動を行っているうえでの喜びは？

【答】 いただいたコメントに喜びや感謝の言葉があると、皆さんのお役に立っていることを実感しますよ。

【問】 このコロナ禍の中で、教会のＳＮＳが果たす役割とはなんでしょうか？

【答】 実際に教会に集まることが出来ない中で、ＳＮＳでの情報発信の重要度が増していますね。現に教会でも講座やミサがオンラインになりました。こんな中で、私たちのＦＢがみなさんのお役に立てればと思います。

【問】 これからのご予定は？

【答】 教会の中を紹介する記事をアップする予定です。

そして最後にみなさんにお願いです。**ＦＢのフォロー、「いいね！」をよろしくお願いします！シェアも大歓迎です!!**

▲教会公式FBより。ミサの情報も配信。

教会フェイスブック
ホームページはこちら

▲FaceBook　▲ホームページ

クリスマス特別献金報告

フィリピン・スリランカから感謝の手紙

コロナ禍によりクリスマスバザーは中止となりましたが、皆さまから370万円を超える特別献金が寄せられ、フィリピンのアテネ・デ・ナガ大学とスリランカのロヨラセンター・フォア・エコロジー&ジャスティスに送金され、このほど、礼状と写真が現地から届きました。アテネ・デ・ナガ大学リベラ総長からの報告をご紹介します。

（担当H）

昨年、フィリピンのビコール地方を襲ったスーパー台風ゴニとヴァムコ台風の救援活動のために、多大な寄付をいただき、心から感謝いたします。献金は長期的な解決策となる住宅の建設に使わせていただきたいと思います。

このプロジェクトは大学や地方自治体、天文台などとパートナーシップを結び、「災害に強い住宅の建設」のために立ち上げられました。災害対応マニュアルによれば、台風上陸の48時間前に、住民たちは避難を開始し、その後、強制非難、必要に応じて地域への電力・水道の供給は遮断されます。

そこで、避難住宅の建設が不可欠になります。雨水を回収して浄化するシステム、水耕栽培と養殖をかけ合わせたアクアポニックス農業システム、太陽光発電による無線通信、家庭廃水処理システム、給湯器付き共同調理場を備えた自立型の住宅です。それを中心に、災害後もコミュニティが存続復活繁栄していくことと自立した地域づくりを目指します。

フィリピンでは毎年、平均して20の台風が発生し、甚大な被害をもたらしています。気候変動に伴う台風の増加により、もっとも大きな影響を受ける貧困層のために、本プロジェクトは大きな役割を果たすことになります。

繰り返しになりますが、心より感謝申し上げます。皆さまの上に神の祝福がありますように。

▲災害に強い自立型住宅の完成予想図

◀英神父様の名前入りフラッグの写真はスリランカから

四旬節を迎えて

灰の水曜日ミサ

2月17日（水）に限定公開で「灰の水曜日」のミサが行われました。正午のミサは、李相源神父、ハビエル・ガラルダ神父、また、李神父と日本の縁結びに尽力された山岡三治神父（イエズス会）、関根悦雄神父（同）による共同司式でとり行われました。

説教の中で李神父は「塵（ちり）に返る」の『返る』はヘブライ語でRecover（回復する）、Refresh（取り戻す）、Rescue（救助する）など多様な意味がある。この『返る』という言葉に光を当て、四旬節の中で味わってみてほしい」と話されました。

灰の式は、灰を額に塗らずに頭上に振りかけるなど、コロナ禍に対処する形がとられました。人数制限で物理的距離も取られ、ともに集うことができない兄弟姉妹を空席に感じながらの四旬節の始まりの式になりました。

なお、19時からのミサはヘネロソ・フローレス神父の司式でとり行われ、YouTubeでライブ配信されました。

（担当A）

▲灰は一人ひとりの頭上に

洗礼志願式

2月21日（日）10時ミサの中で女性11名、幼稚園児を含む男性4名が英神父、ガラルダ神父による洗礼志願式に臨み、一人ひとりに聖香油が塗油され、使徒信条が授与されました。洗礼志願者のためにお祈りください。（事務室）

▲聖霊の働きを祈り、祝福を与える按手

「2 月のお知らせ（2021 年 1 月 24 日）」から

主任司祭　英 隆一朗

カトリック麹町（聖イグナチオ）教会の皆さま

冬の寒さと緊急事態宣言の中、厳しい生活が続いていますが、いかがでしょうか。私たちを取り巻く環境がさらに厳しくなってきました。当教会においても、東京大司教区のさまざまな教会でも、所属信徒の間に感染者が出てきたことが報告され、教会の奉仕者もかなり疲弊してきました。教区内の小教区では、すでに公開ミサを中止しているところも出てきました。

◇ミサの変更について

当教会としても、奉仕者の負担を減らし、感染リスクの低下を図る方がよいと判断しました。2/1（月）から当分の間（目安は 3 月末くらいまで）は次のように行います。

主日ミサについて

- 土曜日と日曜日の 18 時のミサはしばらく中止して、聖体礼拝にします。
- 日曜日午前中のミサは奉仕者を減らして実施。オルガン・聖歌隊なし。10 時のミサのみ、録音した聖歌を流します（四旬節に入るまでの期間）。

平日のミサについて

- 平日のミサはすべて休止。朝 7 時と昼 12 時は聖体礼拝。18 時なし。（3 月 8 日再開 18 時聖体礼拝）
- 聖堂は開いていますので、好きな時間に静かにお祈りに来られるのは問題ないです。

特別な典礼について

- 2/17（水）灰の水曜日の典礼：7 時は聖体礼拝、12 時はミサと灰の式（グループで事前予約）、19 時はミサと灰の式（オンラインによる事前予約のみ）
- 2/21（日）10 時のミサは洗礼志願式のミサ（関係者のみ参加）
- 3/20 日（土）四旬節黙想会：オンラインで行う予定（⇒ 3 月 13 日（土）に変更）

◇司祭・修道者の人事異動について（略⇒９頁を参照）

ミサ･ゆるしの秘跡･講座などについてのまとめ（2021 年 1 月 24 日現在）

◇共通事項

●マスク着用・手洗い・手指消毒・検温など、責任をもって感染症対策に万全を尽くしてください。
●ご自身が感染された場合、すみやかに教会にご連絡ください。
●ソーシャルディスタンスを保ってください。
各聖堂の定員＝主聖堂 :100 名　マリア聖堂 :10-30 名　ザビエル聖堂 :10 名　クリプタ :10 名

◇ミサへの参加

〇事前申込なしの参加はできません。
〇他小教区の方は、所属の小教区でミサに与ってください。
〇当教会の信徒は当教会のミサにだけ与ってください。

ミサの時間（日本語）　ミサの時間および申し込みの要不要は以下の通りです。

主日	（土）	18：00	２月１日から休止
	（日）	7：00	個人申し込み（ネット予約）
	（日）	8：30	グループ申し込み・個人申し込み（ネット予約）
	（日）	10：00	グループ申し込み
	（日）	18：00	２月１日から休止
平日		7：00	聖体顕示のみ、ミサはありません
		12：00	２月１日から聖体顕示のみ
		18：00	２月１日から休止

☆【休止】＝土曜 12:00 高齢者・基礎疾患のある方専用ミサ、土曜 18 時ミサ、日曜 18 時ミサ、平日のミサ
☆主日ミサは主聖堂で行います。

<グループでの参加>

活動グループ、講座、家族や友人同士などで誘い合わせミサに申し込んでください。

〇グループ定員：４名以上 20 名以下　20 名以上でグループを作りたい場合は、複数のグループを作って申し込みください。グループ毎に代表者を立てるようお願いします。

〇未信徒もグループに参加できます。

〇手続きなど教会ホームページのマニュアル（「ミサ・集い申込用紙」）に記載があります。
詳細は教会事務室へお問い合わせください。

申込方法（グループの場合）

教会ホームページの「ミサ・集い申込用紙（参加者名簿）」に必要事項を記入の上、グループ代表者が教会事務室へ申込をしてください。参加者名簿は、万一感染者が発生した際に速やかに連絡を取るためです。ご協力をお願いします。

〇申し込みは各グループ月 1 回を目安としてください。

〇希望するミサが満員の時は別のミサを申し込んでください。

参加者名簿：参加者の氏名、住所、電話番号、メールアドレスを記入します。

申し込み方法：下記のいずれかの方法で申し込みをしてください。

（1）メール…教会事務室へ申込用紙を添付してメール（office@ignatius.gr.jp）

（2）FAX…教会事務室 FAX 03-3263-4585

（3）郵送…〒 102-0083 東京都千代田区麹町 6-5-1 カトリック麹町聖イグナチオ教会

（4）事務室へ直接提出

申込書が教会事務室へ届いた時点で申し込みは完了です。

ご希望の日時のミサが満員だった場合などは、教会事務室から代表の方へご連絡をします。

<グループを作るのが難しい場合>

ウェルカムテーブル（毎日曜日 9:15 頃～ 11:30 頃･テレジアホール前）にご相談ください。グループを作り、翌週以降の主日ミサへの申込ができます（電話受付不可）。

定員に達している場合は希望のミサに参加できないことがありますのでご了承ください。

（１）ウェルカムテーブルで受付用紙に記入

（２）グループ確定後、グループ代表より当日の集合場所と時間・注意事項など連絡があります

（３）当日ミサに参加（ウェルカムテーブルのメンバーも同行します）

（４）グループごとに短い時間わかち合い（参加自由）

（５）希望者は次回の予約ができます

<個人での参加申し込み>

〇日曜日 7 時・8 時半のミサは個人での申し込みができます。

〇教会ホームページのトップページにあるネット予約（個人）フォームから申し込みをしてください。

〇ミサ前日（土曜日）12 時、または定員に達しましたら受付を締め切ります。

ミサ当日

万全の感染症対策をしてご参加ください

〇主日以外のミサは申し込み人数によって聖堂が決まります。使用する聖堂は当日事務室でご確認を。

●不特定の人が紛れ込むのを避けるため、必ず受付をしてください。

〇マスク必須です。ソーシャルディスタンスをとって着席ください（すわってよい席には目印あり）。

〇聖体拝領直前に、すべての人が手指の消毒を行ってください。

〇聖体拝領は手で受ける形のみです。

〇聖歌の歌唱だけでなく、文言の共唱も控えてください。

〇ミサに参加できない大多数の方のために、ライブ中継を行っています。ご協力をお願いします。

〇ミサに参加できない方は自分の分身として折り鶴をミサに参加させることができます（HP：折鶴プロジェクトを参照）。

高齢者・基礎疾患のある方

〇土曜日 12 時 高齢者・基礎疾患のある方専用ミサ（主聖堂）は休止中です。

〇大司教より、高齢者と基礎疾患のある方々へは自粛要請が出ています。自分の健康状態や家族への配慮などを含めて、慎重な対応をしてください。一人ひとりの賢明な識別をお願いします。

◇ご聖体のお届け

ご高齢・病気のためにミサにはまだ参加できないが、ご聖体はいただきたいという方々のために、コロナウイルス感染症が流行している期間、信徒の聖体奉仕者がご自宅や施設までご聖体をお届けする奉仕をします。

●必ず事前に同居ご家族の承認・施設の許可を得てください。

〇ご家族・施設の承認が得られたら教会事務室（03-3263-4584）にご連絡ください。日時を相談いたします。

〇当日は信徒の奉仕者がご自宅または施設へ伺います。

〇必要な場合、ご家族の方が同伴ください。

〇感染リスクをゼロにはできず、奉仕者も気づかず感染させてしまう危険があることをご承知おきください。

◇ゆるしの秘跡・病者の塗油の秘跡

ゆるしの秘跡の時間・場所

時間：主日…ミサの時間中　平日…17:30~18:30

仮告解室：1 階トイレ向かい、セントロクラベール

感染症対策には万全を。聴罪司祭は重症化リスクが高い高齢者が多いため、慎重な行動をお願いします。

お願い事項

〇仮告解室へ入室するときは、換気のため扉は開けたままにしてください。

〇手短に告解をしてください。

〇痛悔の祈りを各自持参してください。

〇しばらくの間、月に 1 回程度にしてください。多くの人が秘跡の恵みにあずかれるようご協力ください。

〇教会に来られず自宅や施設で秘跡を望まれる方は、教会事務室（03-3263-4584）に連絡ください。司祭と日程を調整します。

病者の塗油の秘跡

病者の塗油を望まれる方は事前に教会事務室（03-3263-4584）に連絡ください。司祭と日程を調整します。

◇そのほかの秘跡など

短時間で、ソーシャルディスタンスが保てる人数で行ってください。

〇洗礼式：各グループで実施してください。

〇結婚式：ソーシャルディスタンスが保てる人数（マリア聖堂で 30 名まで）で行います。

〇葬儀：参加人数に合わせ各聖堂で、なるべく簡単に行います。

〇追悼ミサ・納骨式：クリプタで 10 名以下で行います。

◇講座・活動グループ

集まりや講座はしばらく休止をお願いいたします。

オンラインでの信仰案内講座を配信しています。どなたでも視聴できます。⇒教会ホームページの「オンライン入門講座」

どうしても必要なこと、緊急なものなどは、感染症対策を十分した上で短時間でお願いします。ミサ・集い申込用紙（参加者名簿）に必要事項を記入し、グループ代表者が教会事務室へ申し込んでください。ミサ・集い申込用紙（参加者名簿）は教会ホームページからダウンロードしてください。

〇参加者名簿：参加者の氏名、住所、電話番号、メールアドレスを記入します。

〇申し込み方法：下記のいずれかの方法で申し込みをしてください。

（1）メール…教会事務室へ申込用紙を添付してメール（office@ignatius.gr.jp）

（2）FAX…教会事務室 FAX 03-3263-4585

（3）郵送…〒 102-0083 東京都千代田区麹町 6-5-1 カトリック麹町聖イグナチオ教会

（4）事務室へ直接提出

申込書が教会事務室へ届いた時点で申し込みは完了です。ご希望の日時・場所が予約できない場合は教会事務室から代表の方へご連絡をします。

〇小規模（20 名以内）、短時間での集まりが可能です。

〇席を空けて座り、予約する際は部屋定員の 1/3 程度の人数で考えてください（例：アルペホールなら 20 名）

〇使用後、座席など消毒作業を行ってください。

◇献金について

いつもご協力に感謝いたします。教会の管理・運営は、献金によってまかなわれております。

コロナ禍で教会にいらっしゃれない時などのために、お振込先をお知らせ致します。ご都合に合わせてご利用ください。どうぞよろしくお願い致します。

（1）郵便局　口座記号・番号：00110-4-252741　　加入者名：聖イグナチオ教会

（2）みずほ銀行　支店：四谷支店　　口座番号：（普通）1387075　　口座名：聖イグナチオ教会

教会活動グループの今
コロナ禍に負けず（下）

コロナ禍中にあって教会活動も制限されています。活動グループの現状とこれからを、各グループから報告していただきました。お問い合わせは教会事務室へお願いします。

※2021年2月20日現在の情報です。

真理のうちに一致しましょう
真和会

真和会は1972年に発足し、49年間にわたって「開かれたカトリック教会における講演会（2020年1月：第278回）」を開催してまいりました。

今年度はコロナ感染症拡大のため開催できませんでした。終息後には信者、未信者にかかわらず、広く社会の善意の人々に呼びかけ、「真理による和」＝「人の和をもたらすものは、誤りのないもの、つまり真理でなければならない。真理のうちに一致しましょう」を目指して、年間3回の講演会を開催する予定です。（大海）

◆活動場所と活動日：テレジアホール、第1月曜11時半～12時半
◆メンバー募集：休止中

予定は大幅変更、それでも
写真チーム

教会の歴史を写真映像として綴ることが使命です。コロナ禍で予定が大幅に変更されましたが、主聖堂入堂前に検温する様子、新年祝賀会のオンライン配信風景も撮影し、記録に残しました。各行事写真のファイリングと希望者への焼き増しサービスも行っています。写真に興味のある方、皆さまに喜んでいただけること、画像記録を正確に未来へ残すことを目標に、ともに歴史を刻んでみませんか。（松室）

▶写真チームの写真整理作業

◆メンバー募集中

裏方のご奉仕は喜び
マルタとマリアの会

2月10日、灰の水曜日（17日）に使う灰を作りました。すごい煙とにおいのため、上智大学の入試日程を確かめ、消防署に届け、完全防備で臨みました。

昨年は受難の主日ができなかったため、枝の回収は少なかったのですが、燃やして灰をつくり、目の粗さの違うふるいで3度こし、肉たたきでなめらかにして完成。ミサが制限された中でも、教会行事の裏方ご奉仕ができるのは喜びです。（谷口）

◆メンバー募集：現在はしていません

2度の中断にめげず
イグナチオ朝祷会

参加者一人ひとりの真心と背中で、カトリック信仰をプロテスタント、未信者の方々に伝えることを心がける朝食・祈祷会。第2バチカン公会議の宣言に基づき、半世紀を超えてキリスト教一致の運動を続けています。昨春、田丸篤神父を送別したのを最後に中断。秋からアルペホールをいっぱいに使い、定員15人で再開したもののコロナ第3波でまた中断。メンバー間で連携しつつ、再開を楽しみに自重しています。（鬼頭）

◆活動場所と活動日：金曜7時ミサ後～8時半
◆メンバー募集中

学園備品に役立ちます
ベルマークグループ

ベルマークの整理集計の活動をしています。集計後のポイントは、富士聖ヨハネ学園の備品購入に役立てられています。お手伝いくださる方、大歓迎です。お待ちしています。（上田）

◆活動場所と活動日：信徒会館404、第2火曜10時～
◆活動再開後にメンバー募集

新年度オリエンテーションは7月に
受け皿グループ

1977年から40年以上にわたる歴史のある教会主催オリエンテーション。その場で、受洗して間もない方々や他教会から転入、プロテスタントから改宗した方々が、麹町教会を知り、興味を持って積極的に活動グループに参加するためのパイプ役を担っています。

コロナ禍で洗礼式もままならない中、昨秋、「はじめの一歩」グループとの協働企画で、新受洗者オリエンテーションを行いました。新年度は、7月と来年2月に開催を予定しています。（島田）

◆活動場所と活動日：信徒会館404、第2日曜11時～（月例会）

教会のことをもっと知りたい方や、オリエンテーション当日に参加できなかった方は、月例会や日曜サロン内でのミニオリエンテーション（月一回不定期）にぜひお越しください。

◆メンバー募集中

追悼　イシドロ・リバス神父

イシドロ・リバス神父の葬儀ミサは1月27日、主聖堂で、イエズス会士のみの非公開で行われました。オンラインライブには450人を超える視聴があり、スペインのご遺族にも配信されました。

司式は海外出張中のイエズス会日本管区長に代わり、山岡三治管区長補佐が務め、ハビエル・ガラルダ神父が説教を担当されました。弔詞は瀬本正之・上石神井共同体院長が語られ、その中で、音楽がお得意だったリバス神父の作曲になる感謝の賛歌「リバス神父さん」を紹介、「この歌はミサで普通に歌われますので、神父様の名前が長く残ると思います」と述べられました。

以下は、ガラルダ神父の説教からの抜粋です。聖書箇所は、マルコ3：13～15、ヨハネ2：17より。

◇◇◇

リバス神父は、1月21日11時、ロヨラハウスにて静かに息を引き取りました。91歳でした。イエズス会生活は74年間でした。

たくさんの才能に恵まれた人でした。彼は高校時代に「私に従いなさい」というキリストの声を聞き、「行きます」と言ってイエズス会に入りました。いつもご聖体の入っている聖櫃に、イエスとともにいました。

イシドロ・リバス神父　略歴

1929年7月10日	スペイン、バルセロナ生まれ
1946年8月14日	イエズス会入会（スペイン）
1954年7月30日	来日
1961年3月18日	司祭叙階（東京）
1963年～2000年	上智大学で教える
1963年～1969年	駒場ザビエル学生寮舎監
1968年～1977年	日本CLC教会助言者
1972年～1974年	横浜国立大学で教える
1980年～1985年	麹町（聖イグナチオ）教会助任司祭
1985年～1998年	東京で司牧活動
1998年～2000年	麹町（聖イグナチオ）教会助任司祭
2000年～2007年	東京で司牧活動
2001年～2005年	イエズス会霊性センターの広報活動
2007年～2021年	ロヨラハウス
2021年1月21日	帰天（ロヨラハウス）

よく祈る人でした。そして福音宣教のために非常にがんばりました。

44年ほどの日本での司牧活動は充実したもので、ラテン語を神学生に教えたことから始まり、CLC（聖イグナチオの霊性を源泉とする信徒の共同体的組織）活動の推進者として全国を回り、多くの神父に影響を与え、また、自分がいなくても聖書講座を主宰できるように信徒を養成しました。

上智大学で長く教え、黙想会・錬成会・講話…きりがないほど教えました。この教会では、青年会とフォークミサグループをつくり、結婚講座を担当し、今も歌うミサ曲を作曲しました。

彼は「神（あなた）の家を思う熱意がわたしを食い尽くす」（ヨハネ2：17）の意味を知っていました。その熱意は彼の人生に意味と方向性を与えた反面、そのストレスで健康を損なったのかもしれません。才能に恵まれたが、怠ける能力は足りなかったと思います。うつ病になり、ロヨラハウスに14年間いました。福音宣教ができないのはつらかったでしょう。救ったのは彼にはユーモアがあり、笑い話を作るのが大好きだったこと。もう一つはイエスのそばにいたことです。

1月21日、イエスは彼をご自分のもとに迎えました。

神さま、イシドロ・リバスを幸せにしてください。リバス神父様、元気と友情をくださってありがとうございます。

◇◇◇

葬儀では、リバス神父作の次の曲が使われました。

☆入祭＝あわれみの賛歌
☆拝領＝イエスの祈り
☆献花＝感謝の賛歌

「生きたミサ」をありがとう

1983年にリバス神父様の指導のもと始まったフォークミサは、毎月聖書の箇所を読んでわかち合いをし、神父様のあふれるアイデアで時には寸劇を、時には奉納や感謝の賛歌を踊って表現し、正にともに捧げるミサでした。神父様、生きたミサをありがとうございました！

（フォークミサグループ初期メンバー　中川明美）

追悼　草野純英（すみひで）神父

草野神父は晚年の上石神井修道院の時に数年間、毎日曜日の10時ミサでの告解担当をしていただきました。ありがとうございました。

葬儀ミサは2月5日、主聖堂で行われました。

草野　純英神父　略歴

1926年10月17日	愛知県名古屋市生まれ
1949年　5月19日	上智大学卒業後、イエズス会入会
1960年　3月18日	司祭叙階（東京）
1962年～1963年	六甲教会助任司祭
1963年～1984年	六甲中学高等学校で教える
1968年～1977年	六甲修道院副院長
1984年～1992年	泰星中学高等学校で教える
1984年～1992年	福岡修道院副院長
1992年～1994年	山口教会助任司祭
1994年～2001年	長崎修道院院長
2001年～2004年	長崎黙想の家所長
2004年～2009年	上石神井黙想の家
2009年～2019年	上石神井修道院で黙想指導
2019年～2021年	ロヨラハウス
2021年2月2日	帰天（ロヨラハウス）94歳

司祭などの異動のお知らせ

2021 年 4 月 4 日（復活祭）より

・李　相源神父
当教会助任司祭から広島教区祇園教会主任司祭へ

・柴田　潔神父
広島教区徳山教会主任司祭から当教会助任司祭に

・グエン・タン・ニャー神父
当教会協力司祭から他の司牧活動へ(すでに異動済み)

・アデルファ・アルメンティアさん
英語グループ担当から他の使徒職へ

神父様方の今後のご活躍をお祈りください。

２月の宣教司牧評議会からのお知らせ

・四旬節黙想会は 3 月 13 日(土）に変更されました。
・四旬節中の十字架の道行きは教会では行いません。ご自宅でお祈りください。
・聖週間の典礼：受難の主日ミサ、主の晩餐の夕べのミサ（聖木曜日)、主の受難の祭儀（聖金曜日)、復活の聖なる徹夜祭（聖土曜日）はオンラインでライブ配信いたします。
・4 月 4 日(日）15 時半から予定されていた洗礼式は、4 月 3 日(土）復活の聖なる徹夜祭の中で行います。
・4 月 4 日(日）復活祭でのイースターエッグの頒布は行いません。

財務報告

1 月 31 日世界こども助け合い日の献金 446,445 円はローマ教皇庁に送られ、世界各地の恵まれない子どもたちのために使われます。

案内所臨時休業

教会入口脇の案内所は下記 3 日間臨時休業いたします。

4 月 5 日（月)、6 日 (火)、7 日 (水)

四旬節黙想会のお知らせ

テーマ :**「ＵＡＰｓって楽しいね！ –イエスの四つの好み」（新しい協働をめざして）**

日時　：　2021 年 3 月 13 日(土）　主聖堂(定員 100 名)
10：00 ～ 13：00　（ミサを含む)
指導　：　中井淳神父（イエズス会）

・四旬節黙想会は当初の予定 3 月 20 日（土）から 13 日（土）に変更になりました。
・インターネット事前申し込み制、 3 月 6 日(土)13：00 より受付開始。
定員（100 名）に達しましたら受付終了いたします。
・YouTube でライブ配信予定

受難の主日から復活の主日までの典礼

3 月28日(日)　受難の主日(枝の主日)
27 日(土) 18:00　聖体顕示と枝の祝別式　申込不要
28 日(日)　7:00　ミサ　インターネット個人申込
8:30　ミサ　グループ事前申込とインターネット個人申込
10:00　ミサ　オンライン配信
グループ事前申込
18:00　聖体顕示と枝の祝別式　申込不要

4 月 1 日(木)　聖木曜日　主の晩餐の夕べ
19:00　オンライン配信
インターネット個人申込

4 月 2 日(金)　聖金曜日　主の受難
19:00　オンライン配信
インターネット個人申込

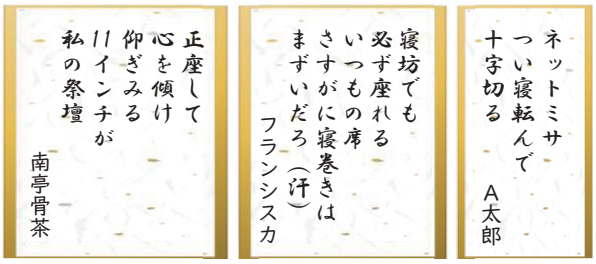
4 月 3 日(土)　聖土曜日　復活の聖なる徹夜祭
19:00　オンライン配信
インターネット個人申込
但し、洗礼関係者優先のため申込受付けは若干名

4 月 4 日(日)　復活の主日
7:00　ミサ　インターネット個人申込
8:30　ミサ　グループ事前申込とインターネット個人申込
10:00　ミサ　オンライン配信
グループ事前申込
18:00　ミサ インターネット個人申込

・四旬節期間中、金曜日夜の十字架の道行は中止です。
・主聖堂入堂は感染症拡大防止のため100人限定です。
・グループ(4 名以上)事前申込は 1 ヶ月前から受付けます。
・インターネット個人申込は 1 週間前から受付けます。
・詳細はイグナチオ教会ホームページ、教会事務室でご確認ください。

お知らせ　「イグ壇」開苑

カトリック信仰・生活にまつわる川柳、俳句、短歌、詩などでつなぐイグナチオ連壇（愛称＝イグ壇）が始まります。作品は、マジス紙面に適宜掲載していく予定です。
応募方法など詳細は 4 月号でお知らせします。お楽しみに！



3 月の典礼と行事

5　（金）　初金曜日		**性虐待被害者のための祈りと償いの日**
7　（日）　四旬節第 3 主日		
13　（土）	**四旬節黙想会**	
14　（日）　四旬節第 4 主日	子どもとともにささげるミサ　10：00	
19　（金）　聖ヨセフの祭日		
21　（日）　四旬節第 5 主日		
25　（木）　神のお告げの祭日		
28　（日）　受難の主日（枝の主日）（聖週間）	**教会活動連絡会議　13：00　ヨセフホール**	**世界青年の日**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定が変更になる場合があります。
最新情報はイグナチオ教会ホームページでご確認ください。

主任司祭：英　隆一朗
助任司祭：ボニー・ジェームス
　　李　相源
協力司祭：ヘネロソ・フローレス
　　ハビエル・ガラルダ
　　マヌエル・シルゴ
ブラザー：吉羽　弘明
シスター：イベッテ・サンチェス
　　（セントロ・ロヨラ）
　　フロール・フロレーセ
　　（ジョン・デ・ブリッド　イングリッシュセンター）

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

ミサ時間　Mass

【平日 Weekday】
7 :00（聖体顕示）主聖堂　Main Chapel
12:00/18:00（ミサ又は聖体顕示、聖堂は要確認）

【日曜日 Sunday】主聖堂　Main Chapel
土曜 18:00/7:00/8:30/10:00/18:00
12:00（English）/13:30（Español）/
15:00（Việt Nam）/16:30（English）

【月の第 1 日曜日 1st Sunday】
Our Lady's　Chapel
12:30（Português）/16:00（Polski）

【月の第 2 第 4 日曜日　2nd & 4th Sunday】
Our Lady's Chapel　16:30（Indonesian）

カトリック麹町教会
（聖イグナチオ教会）
〒 102 － 0083
千代田区麹町 6 － 5 － 1
TEL 03 － 3263 － 4584
FAX 03 － 3263 － 4585
http://www.ignatius.gr.jp

ホームページ　フェイスブック

マジスへのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。